

## 2024 年度日本分析化学会役員

会長（代表理事）	山本 博之							
副会長	平山 直紀	保倉 明子	手嶋 紀雄	江坂 幸宏	津越 敬寿			
庶務担当理事	坂入 正敏	大江 知行	安田 純子	倉光 英樹	山本 雅博	朝日 剛		
	井原 敏博	小澤 岳昌	早下 隆士	吉田 裕美	西本 右子			
会計担当理事	松浦 義和	本田 俊哉						
編集担当理事	加地 範匡	竹内 政樹						
常務理事	福井 俊司							
監事	宮野 博	長谷川 健						

## 2024 年度日本分析化学会支部役員

<b>【北海道支部】</b>	(〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内)							
支部長	坂入 正敏							
副支部長	(木村)須田廣美 南 尚嗣							
参 与	伊藤 慎二	伊藤八十男	片山 則昭	齋藤 健	神 和夫	高橋 一樹	高橋 英明	
田中 俊逸	長谷部 清	森田みゆき	横沢 龍朗					
監 事	渡慶次 学	嶋崎 悌司						
庶務幹事	佐藤 久	谷 博文						
会計幹事	真栄城正寿	山田 幸司						
幹 事	青柳 直樹	池田 敦子	石田 晃彦	今枝 佳祐	上野 貢生	宇都 正幸	大木 淳之	
大津 直史	岡 征子	奥田 弥生	川口 俊一	菅 正彦	工藤 英博	齋藤 徹	堺井 亮介	
佐々木隆浩	真田 哲也	高瀬 舞	高橋 徹	田原るり子	千葉 真弘	徳光 藍	富田 恵一	
中田 耕	中谷 暢丈	西村 一彦	沼田ゆかり	松井 宏之	三浦 篤志	三原 義広	村井 毅	
諸角 達也	吉村 昭毅	龍崎 奏	若杉 郷臣					
<b>【東北支部】</b>	(〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院薬学研究科臨床分析化学分野)							
支部長	大江 知行							
副支部長	珠玖 仁	高貝 慶隆						
参 与	秋葉 健一	宇野原信行	大関 邦夫	大類 洋	尾形 健明	荻野 博	長 哲郎	
小田嶋次勝	後藤 順一	齋藤 紘一	佐藤 允美	南原 利夫	糠塚いそし	星野 仁	山崎 慎一	
四ツ柳隆夫								
監 事	西澤 精一	藤村 務						
庶務幹事	伊野 浩介							
会計幹事	李 宣和							
幹 事	赤坂 和昭	壹岐 伸彦	石川大太郎	伊藤 徹二	井上 賢一	岩田 吉弘	遠藤 昌敏	
大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克	尾高 雅文	加藤 健	上條 利夫	唐島田龍之介	菊地 洋一	
菊池美保子	北川 文彦	熊谷 将吾	斎藤昇太郎	佐藤 勝彦	佐藤 健二	佐藤 雄介	猿渡 英之	
澤村 瞭太	志村 清仁	杉山 将司	高橋 薫	田副 博文	多田 美香	寺前 紀夫	照井 教文	
仲川 清隆	沼田 靖	野原 幸男	橋本 隆光	幡川 祐資	比嘉 勝孝	平野 愛弓	平山 和雄	
福山 真央	末永 智一	三浦 拓也	松村 洋寿	眞野 成康	盛田 伸一	山田 理恵	和久井喜人	
渡辺 亮	渡辺 健一	渡辺 忠一						
<b>【関東支部】</b>	(〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号)							
支部長	四宮 一総							
次期支部長	菅原 一晴							
副支部長	敷野 修	平山 直紀	宮下 隆					
参 与	梅澤 喜夫	大橋弘三郎	岡田 哲男	小熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一	
澤田 清	渋川 雅美	杉谷 嘉則	鈴木 康志	高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦	津越 敬寿	
角田 欣一	中込 和哉	中村 洋	二瓶 好正	丹羽 修	早下 隆士	平井 昭司	藤浪 眞紀	
保母 敏行	本田 俊哉	前田 瑞夫	宮村 一夫	望月 直樹	安田 純子	矢野 良子	山崎 素直	

# お知らせ

山根 兵	山本 博之								
監 事	津越 敬寿	安田 純子							
常任幹事	青木 寛	板橋 大輔	伊藤 彰英	稲川 有徳	植田 郁生	上野 祐子	梅林 泰宏		
	岡村 浩之	勝又 啓一	桑田 啓子	坂元 秀之	島田亜佐子	東海林 敦	菅沼 こと	高橋由紀子	
	高橋 豊	豊田 太郎	中村 圭介	西垣 敦子	西島 喜明	沼子 千弥	古庄 義明	南 豪	
山口 央									
支部幹事	吉川ひとみ	齋藤凛太郎	鈴木 悠希	田中 佑樹	半田友衣子	福原 学	南木 創		
森田耕太郎									

**【中部支部】** (〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル7F (公財)中部科学技術センター内)

支 部 長	倉光 英樹								
次期支部長	巽 広輔								
副支部長	片野 肇	高田 主岳							
顧 問	板谷 芳京	一ノ木 進	井村 久則	上田 一正	太田 清久	小谷 明	北川 邦行		
	酒井 忠雄	佐々木与志実	鈴木 正巳	田口 茂	柘植 新	津田 孝雄	寺田喜久雄	永長 幸雄	
	中村 俊夫	野村 俊明	早川 和一	原 稔	樋上 照男	平出 正孝	舟橋 重信	三輪 智夫	
	山田 真吉	山寺 秀雄	湯地 昭夫						
参 与	宇野 文二	竹内 豊英	田中 智一	遠田 浩司	中田 隆二	波多 宣子	服部 敏明		
馬場 嘉信									
監 事	江坂 幸宏	長谷川 浩							
庶務幹事	佐澤 和人	高橋 史樹							
会計幹事	間中 淳	植松 宏平							
常任幹事	石田 康行	植松 宏平	太田 一徳	甲斐 穂高	加賀谷重浩	北川 慎也	栗原 誠		
	巽 広輔	西山 嘉男	村上 博哉	山本 拓平	湯川 博				
幹 事	青木賢一郎	伊神 裕善	石松 亮一	伊藤 雅章	奥山 修司	香川 信之	勝又 英之		
	加藤 亮	金子 聡	菅野 憲	儀賀 義勝	北出 和久	木全 良典	金 継業	後反 克典	
	斎藤 隆起	柴田 信行	鈴木 保任	高橋 史樹	立石 一希	轟木堅一郎	永谷 広久	丹羽 敏之	
	古川 真衣	松宮 弘明	御子柴正明	三添 英明	宗兼 将之	森 敦	安井 孝志	山腰 亮子	
	吉田 佳宏	四津 佳伸	リムリーワ						

**【近畿支部】** (〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-8-4 (一財)大阪科学技術センター内)

支 部 長	山本 雅博								
次期支部長	森内 隆代								
副支部長	堀田 弘樹								
庶務幹事	岩月 聡史	岡本 行広							
会計幹事	宇田 亮子	山口 敬子							
参 与	荒川 隆一	池田 篤治	大塚 利行	大塚 浩二	尾崎 幸洋	垣内 隆	加納 健司		
	木原 壯林	木村 恵一	木村 優	紀本 岳志	小島 次雄	佐伯 正夫	澁谷 康彦	田中 稔	
	谷口 一雄	千熊 正彦	寺部 茂	中原 武利	萩中 淳	藤田 芳一	藤原 英明	松下 隆之	
	八尾 俊男	横井 邦彦	渡會 仁						
常任幹事	大城 敬人	駒谷慎太郎	外間 進悟	椎木 弘	北隅 優希	中島 陽一	平原 将也		
	許 岩	河野 七瀬	山本 茂樹	久保 拓也	下条晃司郎	金尾 英佑			
幹 事	青山 佳弘	浅川 大地	飯田 琢也	石切山一彦	石濱 泰	磯尾賢太郎	伊藤 滋之		
	河野 慎一	上田 啓太	遠藤 達郎	奥田 浩子	高木 一好	小山 宗孝	糟野 潤	門 晋平	
	川上奈津子	川崎 英也	川田 武史	杉山 彩代	川元 達彦	北山 紗織	木村 敦臣	久保埜公二	
	倉内 奈美	桑本 恵子	小池 亮	小島 順子	小林 典裕	小林 宏資	坂本 英文	佐々木隆之	
	作花 哲夫	下山 昌彦	白井 理	杉原 崇康	杉山 雅人	鈴江 崇彦	鈴木 哲	鈴木 雅登	
	砂山 博文	諏訪 雅頼	瀬戸 康雄	宗林 由樹	宋和 慶盛	高木 達也	高野祥太郎	高橋 弘樹	
	菱田 尚子	武上 茂彦	竹田さほり	谷田 肇	谷水 雅治	茶山 健二	塚越 一彦	塚原 聡	
	塚本 効司	辻 幸一	壺井 基裕	角井 伸次	坪井 泰之	天満 敬	鳥羽真由子	土井 光暢	
	床波 志保	豊田 岐聡	永井 秀典	中口 譲	中澤 隆	中田 靖	中原 佳夫	中村 稜雅	
	中山 茂吉	西 直哉	西尾 友志	野田 達夫	萩森 政頼	橋田紳乃介	長谷川 健	張野 宏也	
	東 昇	久本 秀明	藤居 義和	藤嶽 暢英	藤森 啓一	藤原 学	布施 泰朗	細矢 憲	

# お知らせ

堀山志朱代	本間 秀和	前田 耕治	牧 輝弥	松本 明弘	丸尾 雅啓	三木功次郎	三戸彩絵子
宮崎 哲男	宮道 隆	向井 浩	村上 正裕	村松 康司	森澤 勇介	森田 成昭	八木 正浩
矢嶋 摂子	安井 裕之	安川 智之	山垣 亮	山口 英一	山根 常幸	山本佐知雄	吉田 裕美
渡邊 誠也							

**【中国四国支部】** (〒739-8526 広島県東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科 (化学プログラム) 分析化学研究室内)

支 部 長	朝日 剛							
次期支部長	高柳 俊夫							
副支部長	林 徹太郎							
支部参与	池田 早苗	伊藤 一明	今井 嘉彦	岩知道 正	奥村 稔	木卜 光夫	熊丸 尚宏	
善木 道雄	田頭 昭二	竹味 弘勝	中野 惠文	林 康久	平田 静子	廣川 健	藤原 照文	
北條 正司	真鍋 敬	宮田 晴夫	本仲 純子	本水 昌二	森田 秀芳	山崎 恒博		
支部監事	小園 修治 中山 雅晴							
庶務幹事	小崎 大輔 水口 仁志							
会計幹事	浅岡 聡							
常任幹事	安達 健太	石坂 昌司	今井 昭二	上田 忠治	上田 真史	金田 隆	紙谷 浩之	
北出 哲朗	北山 宏三	座古 保	高田 智明	竹田 一彦	田所 大典	田中 秀治	津村 徹	
西 博行	原 哲也	平岡 章二	藤井 健太	藤田 勉	森 勝伸	盛田啓一郎	森本 稔	
藪谷 智規	横山 崇 吉村 友宏							
支部幹事	浅野 比	井上 裕文	片岡 洋行	荻部 甚一	川村 邦男	小松原恒生	島崎 洋次	
管原 庄吾	竹内 政樹	竹永 史典	武安 伸幸	寺川 敦哉	永阪 文惣	西本 潤	西脇 芳典	
樋口 浩一	藤原 勇	渊脇 雄介	松原 弘樹	門木 秀幸	山下 浩	山本 剛	山本 孝	
吉岡 徹	和田 光弘							

**【九州支部】** (〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院工学研究院)

支 部 長	加地 範匡							
次期支部長	井倉 則之							
副支部長	宮崎真佐也 馬渡 和真							
支部参与	石黒 慎一	今坂藤太郎	今任 稔彦	岩崎 正武	鎌田 薩男	河濟 博文	喜納 兼勇	
黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔	下田 満哉	城 昭典	高館 明	谷口 功	田端 正明	
出口 俊雄	中島憲一郎	中村 博	肥後 盛秀	増田 義人	松本 清	山口 敏男	山口 政俊	
山田 淳	横山 拓史 吉村 和久 脇田 久伸							
監 査	井上 高教 浅田 泰							
庶務幹事	田中 充							
会計幹事	井手 幸子							
常任幹事	新垣 雄光	井倉 則之	大島 達也	栗崎 敏	佐藤しのぶ	佐藤 博	高椋 利幸	
戸田 敬	浜瀬 健司	原田 明	藤ヶ谷剛彦	松尾 隆司	松森 信明			
幹 事	安藤 功	石岡 寿雄	石川 洋哉	稲田 幹	伊藤 圭亮	井原 敏博	宇都宮 聡	
梅木 辰也	江藤真由美	王子田彰夫	大渡 啓介	大庭 義史	大平 慎一	恩田 健	片山 佳樹	
加藤 祐子	梶島 力	梶島 正美	上畑桂太郎	川上 健次	川畑 明	神崎 亮	北村 裕介	
岸川 直哉	木下 将和	栗原 龍	黒田 直敬	呉 行正	児玉谷 仁	佐藤 博	佐藤 正雄	
佐野 洋	澤津橋徹哉	塩路 幸生	清水 陽一	白土 英樹	末田 慎二	鈴木 絢子	宗 伸明	
北島 敏夫	竹中 繁織	高橋 浩司	高橋 幸奈	高橋 政孝	竹原 公	田中 充	手嶋 康介	
天日 美薫	富永 昌人	鳥羽 陽	中島 常憲	中園 学	中武 貞文	中野 幸二	中村 沙織	
中山 研一	新留 康郎	西田 正志	能田 均	能登 征美	野間 誠司	馬場 由成	巴山 忠	
原口 浩一	原田 明	原田 雅章	藤井 清永	前田 明広	増田 寿伸	真瀬田幹生	又吉 直子	
松井 利郎	松田 直樹	松本 篤彦	水城 圭司	満尾 良弘	満塩 勝	三宅 孝彰	村田 正治	
森 健	安田みどり	山下 将一	横山さゆり	吉田 亨次	吉田 秀幸	吉田 祐一	吉留 俊史	

## —ISO/IEC 17043 に基づく分析技能試験— 第 26 回ダイオキシン類分析(河川底質)技能試験 参加試験所の募集

主催 (公社)日本分析化学会  
協賛 (一社)日本環境測定分析協会

ダイオキシン類の分析は、排水、フライアッシュ、土壌など広範囲にわたっています。その分析には高度で複雑な前処理や測定技術の知識・経験が必要とされ、最新の便席技術・技術情報が求められます。分析の信頼性向上のためには試験結果を他所の試験結果と比較し、その差異を究明して対策をとっていく必要があります。ISO/IEC 17043 に基づく試験所間比較・技能試験はそのようなニーズを満たすものです。

本会技能試験委員会では、2000 年度より試験所間比較・技能試験を実施しています。参加試験所には標準物質と同様に均質な試験用試料をお送りします。分析結果を本会に返送されますと、参加試験所の測定結果を統計的に比較し、皆様の試験所の測定結果を全試験所と比較して評価し、報告書をお届けします。本試験に参加することにより、試験所のバイアスを把握でき、試験所の測定傾向や異状をいち早くキャッチでき、内部精度管理ではできない分析の信頼性向上を図ることができます。当技能試験では均質な河川底質試料を配布し、また QC からの分析技術情報なども報告書に掲載しますのでご利用いただけます。

ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) による試験所認定を受審される場合は、このような試験所間比較・技能試験を受けていることが必須条件の一つになります。奮ってご参加ください。

### 日程

参加申込締切：2024 年 8 月 16 日(金)  
試験用試料の配付：8 月 27 日(火) 発送予定  
分析結果の報告締切：11 月 15 日(金) 必着厳守  
中間報告書の発行送付：12 月 20 日(金) 予定  
最終報告書の発行送付：2025 年 1 月 30 日(木) 予定

**対象事業所** ダイオキシン類分析を業務とする全ての試験所  
**目的** 分析技能の維持向上を図り、分析試験所認定へ向けての試験所の技術レベルを確認するため。

**分析試料** 河川底質 約 30 g 1 瓶

**結果報告の内容** 参加試験所に対して、ISO/IEC 17043 に規定する統計的手法による集計結果とその試験所の Z スコアを報告します。報告書は電子ファイルのみです。試験所名は番号で表示されます。したがって、自社の試験結果が全体のどこに位置するかを当事者のみが知ることができます。なお、本会が貴試験所提出データおよび試験結果情報を第三者に公開することはありません。参加試験所名の一覧表は掲載しません。但し、最終報告書の内容は、他機関の要求に応じてその全てまたは一部を提供または掲載することがあります。本会技能試験委員会が実施する当技能試験は ISO/IEC 17043 に従うものであり、試験所認定を受ける際にその旨評価されることが、試験所認定機関 [(独)製品評価技術基盤機構及び(公財)日本適合性認定協会] との間で合意されています。

**参加料(税別)** 日本分析化学会団体会員 50,000 円(税込価格:55,000 円)、協賛学協会会員 60,000 円(税込価格:66,000 円)、会員外 75,000 円(税込価格:82,500 円)

※会社、事業所単位での技能試験のため、本会団体会員または協賛学会に所属していない場合は、会員外扱いとなります(本会個人名義での申し込みについては、会員扱いはいたしません)。

**参加受付試験所数** 60 試験所

**参加申込方法** 日本分析化学会ホームページ (<http://www.jsac.jp>) → 上部の MENU 「各種事業」→ 「技能試験」→ 「2-1 ダイオキシン類分析」→ 「第 26 回ダイオキシン類分析技能試験」に進み、申込用 Excel ファイルをダウンロード後、必要事項

をご記入のうえ、下記の E-mail アドレスにファイル添付でお申込みください。

**記入事項** (1) 試験所名(参加証に記載する試験所名称にも使用しますので、必要場合は部署名まで記入)、(2) 連絡先(氏名、所属、郵便番号、住所、電話、FAX、E-mail)、(3) 団体会員・会員外の別(団体会員番号を必ず記入)、(4) 参加料金額。

### 申込先

E-mail アドレス: pro.test@jsac.or.jp  
メール件名: JSAC ダイオキシン PT 申し込み  
ファイル名: dxn26-ptpmousikomi (試験所名).xls

**送金方法** お申込受付後、受領通知とともに請求書をお送りしますので、2024 年 8 月 30 日までに指定口座に参加料をお振込みください(振込手数料は貴方でご負担願います)。なお、参加料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

**問合せ先** 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号 (公社)日本分析化学会技能試験事務局 [電話: 03-3490-3352, FAX: 03-3490-3572, E-mail: pro.test@jsac.or.jp]

## 有機微量分析研究懇談会 創立 70 周年記念大会シンポジウム 第 91 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会 第 125 回計測自動制御学会力学量計測部会 第 41 回合同シンポジウム

主催 (公社)日本分析化学会有機微量分析研究懇談会  
共催 (公社)計測自動制御学会力学量計測部会  
協賛 (公社)日本分析化学会、(公社)日本化学会、(公社)日本薬学会

**期日** 2024 年 7 月 11 日(木)~13 日(土)

**会場** 岐阜大学講堂・工学部(岐阜県岐阜市柳戸 1-1)

### プログラム

#### 1 日目(11 日)

- 13.00~ 開会の挨拶  
13.10~13.35 ポスタープレビュー(Poster Preview Presentation)(一般:PG-, 若手:PY-)  
PG-01 実用化を目指した有機元素分析装置用還元銅長寿命化へのあくなき挑戦(大阪大学産業科学研究所)○松崎 剛  
PG-02 JCSS はかり校正証明書書の活用について(ザルトリウス・ジャパン(株))○原 菜純、矢倉峰伯、五味 淳、松渕広一  
PG-03 環状芳香族アミド三量体のキラリティーと結晶構造(千葉大学共用機器センター)○榊飛雄真、吉田知史、近藤 俊  
PG-04 軟錠剤の硬さの測定(東京電機大学)○山崎敬則  
PG-05 有機元素分析技術者として 50 年の記録—その 1 大学時代(静岡県立大学薬学部)○佐藤綾子  
PY-01 キャピラリー液体クロマトグラフィーにおける有機ポリマー系コール酸結合型キラルモノリス固定相のワンプット調製(岐阜大学大学院自然科学技術研究所)○杉田匡弥、松山嗣史、リムリーワ  
PY-02 Preparation and characterization of waste seashell derived CaCO<sub>3</sub> micro adsorbents(岐阜大学大学院工学研究科)○Lia Anggresani、松山嗣史、柘植研一、リムリーワ  
13.40~14.10 口頭発表(Oral Presentation)  
(一般:OG-, 若手:OY-)



OY-01 ベンゾイルピラゾロン誘導体の合成およびアルカリ金属イオン抽出特性の評価 (金沢工業大学大学院バイオ・化学専攻) ○山村 凜, 宮下拓海, 坂本宗明, 大嶋俊一, 鈴木保任

OY-02 センサフュージョンによる骨ノミ切削動作の姿勢および変位の計測手法の開発 (山梨大学医工学総合教育部工学専攻機械工学コース) ○笠井翔太, 李 信英, 野田善之

14.20~15.20 Plenary Lecture 1

PL-01 メタボロミクスとグライコプロテオミクスの微量化への取り組み (岐阜大学 iGCORE) ○中嶋和紀

15.30~15.50 有機微量分析研究懇談会創立 70 周年記念事業

創立 70 周年記念表彰式 他

15.50~16.30 Memorial Lecture

ML-01 核酸損傷体の ESI-MS による高感度分析法の開発 (岐阜薬科大学) ○江坂幸宏

16.30~ 工学部 111 番教室にて Free Discussion (企業プレゼンテーション)

2 日目 (12 日)

9.00~9.40 Poster Presentation Core Time

9.50~11.50 口頭発表 (Oral Presentation)

(一般: OG-, 若手: OY-)

OG-01 芳香族ジイミド部位をもつ環状化合物の多様包接による共包接結晶の作製と構造解析 (徳島文理大学香川薬学部解析化学講座) ○兵頭 直, 富永昌英, 山口健太郎

OG-02 炭素核定量 NMR 法によるメリット酸の純度測定法の性能向上に関する分析条件の検討 ((一財)日本食品分析センター) 水口恵美子, 山本佳奈, 阿部泰子, ○加藤 毅

OG-03 新しい 1 キログラムの作り方 ((国研)産業技術総合研究所) ○倉本直樹, 張ルウルウ, 藤田一慧, 狩野祐也, 大田由一, 大久保章, 稲場 肇, 東 康史

OG-04 多元素含有標準試料 (NAC-st4) を用いる有機ハロゲン・硫黄の一斉分析 <sup>(1)</sup>(株)ナックテクノサイエンス, <sup>(2)</sup>日本大学理工学部) ○長嶋 潜<sup>1)</sup>, 堀田哲男<sup>1)</sup>, 吉川賢治<sup>2)</sup>, 萩原洋子<sup>2)</sup>, 萩原俊紀<sup>2)</sup>

OG-05 イオンクロマトグラフィーによる千葉県下の温泉水中のヨウ素の分析—UV 検出法による高感度分析— (日本大学理工学部) ○吉川賢治, 井上みどり, 遠山岳史, 長嶋 潜

OG-06 有機元素分析技術者として 50 年の記録—その 2 起業時代 (静岡県立大学薬学部) ○佐藤綾子

11.50~13.00 Exhibition booth / Lunch time

工学部 111 番教室に分析機器や消耗品等が展示されています。この機会に企業ブースにお立ち寄りください

13.00~14.00 Plenary Lecture 2

PL-02 食品加工におけるポリフェノールの化学変化 (岐阜大学応用生物科学部) ○柳瀬笑子

14.10~15.10 Panel Discussion

(仮題) 有機微量分析の未来

16.00~17.00 Plenary Lecture 3

PL-03 Current State of Analytical Chemistry in Indonesia (IPB University, Indonesia) ○ Prof. Mohamad Rafi

18.00~20.30 技術研修会

3 日目 (13 日)

8.30~ 見学会

**参加登録費** 主催・共催および協賛学会会員: 4,000 円 (6 月 14 日 (金) まで), 5,000 円 (6 月 15 日 (土) 以降), 非会員: 6,000 円, 学生: 2,000 円, 講演要旨集のみ (送料込): 3,000 円

**技術研修会費** 主催・共催および協賛学会会員, 非会員: 8,000

円

**見学会会費** 4,000 円 (会期中徴収)

**申込・問合せ先** 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学工学部 リムリーワ [電話・FAX: 058-293-2815, E-mail: orgmicro-sympo@jsac.ac.jp]

**日本分析化学会有機微量分析研究懇談会創立 70 周年記念大会ホームページ**

<https://www.jsac.or.jp/~orgmicro/sympo2024>

## 第 397 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

**主催** (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

**後援** (公社)日本薬学会 (申請中), (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会, LC シニアクラブ

2015 年の国連サミットで採択された SDGs (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) は, 2016 年から 2030 年までの 15 年間で達成することを目的としており, 2024 年現在, すでにその後半戦に突入しています。SDGs で掲げられている 17 の目標の中には, 「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「12. つくる責任つかう責任」などわれわれの業務に関連したものがああります。

今回, HPLC, LC/MS 関連で進化している技術という各論に留まらず, ラボ運用や業務全般についてなど, マクロな視点による内容を含む, 5 年後, 10 年後を見据えた SDGs 関連の取り組みについて紹介していただきます。

**期日** 2024 年 7 月 19 日 (金) 13.00~17.00

**会場** 栗田工業(株)/Kurita Innovation Hub 講堂 A [東京都昭島市拜島町 3993-15, 交通: JR「昭島」駅より徒歩 7 分]

[https://www.kurita.co.jp/aboutus/pdf/KIH\\_accessmap\\_jp.pdf](https://www.kurita.co.jp/aboutus/pdf/KIH_accessmap_jp.pdf)

**講演主題** 未来に繋がる SDGs ラボ・システム・アプリケーションづくり

**講演**

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.10)

(日本分光(株)) 寺田明孝

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段, IC 分析士初段)

1. サステイナブルに配慮した超純水・純水製造装置

(13.10~13.45)

(メルク(株)) 八木馨太

(LC 分析士初段)

2. 省溶媒製品を中心とした環境配慮型製品の開発とアプリケーション (13.45~14.20)

(ジーエルサイエンス(株)) 太田茂徳

(LC 分析士初段)

3. 効率的なラボ (クロマトグラフィー関連) を目指して (14.20~14.45)

(栗田工業(株)) 榎本幹司

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士三段)

休憩 (14.45~15.05)

4. 生産性の向上と環境負荷の低減を両立する “Smart Eco Lab” のご紹介 (15.05~15.40)

(株)島津製作所) 松本恵子

(LC/MS 分析士初段)

5. 企業内分析サンプルの変遷から見た SDGs アプリケーション (15.40~16.15)

(味の素(株)) 岩畑大悟

(LC 分析士初段)

6. 総括「未来に繋がる SDGs ラボ・システム・アプリケー

ションづくり」(16.15~16.50)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター, LC/MSマイスター)

情報交換会(17.10~19.10)申込者のみ

**参加費** ① LC研究懇談会・個人会員, 学生: 1,000円, ② LC研究懇談会・団体会員: 2,000円, ③ 後援学会・個人会員: 3,000円, ④ 後援学会・団体会員: 4,000円, ⑤ その他: 5,000円. 参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください.

**情報交換会** 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費5,000円). 参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください.

**申込締切日** 7月12日(金)(入金締切時刻: 15時まで)

**申込方法**

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC研究懇談会・個人会員, 協賛学会・個人会員, その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください. なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください.
2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレスに「第397回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます. メールが届かない場合は, ①入力したご自分のアドレスに間違いがないか, ②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ, 世話人までお問い合わせください.
3. 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に研究懇談会参加費, 情報交換会費の納入を行ってください. 期限内に納入が確認できない場合, お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので, 十分ご注意ください. 当日払いは受け付けません. なお, いったん納入された参加費は, 返金いたしません.
4. 参加費の納入が確認できた方には, 2024年7月13日以降に要旨集をメールにてお送りいたします. 必要に応じてプリントアウトしてご参加ください. なお, 請求書の発行はいたしておりません.

**液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意** 例会参加費, 情報交換会費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします.

1. 複数例会の参加費の同時振込  
(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込  
(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込  
(→費目ごとに振り込んでください)

**申込先** <https://forms.gle/YoDdgZAFB8s3rACZA>

(学生申込者は, 所属欄に大学名, 学部, 学年を記載)

**銀行送金先** りそな銀行五反田支店(普通)1754341, 口座名義: シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

**問合先** (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人: 日本分光(株) 寺田明孝 [E-mail: akitaka.terada@jasco.co.jp]

## 九州分析化学若手の会 第37回若手研究講演会および 第42回夏季セミナー

主催 九州分析化学若手の会・(公社)日本分析化学会九州支部

**期日** 2024年7月26日(金)・27日(土)(1泊2日)

**会場**

サンプラザ天文館(ポスター発表, 依頼講演)

〔鹿児島市東千石町2-30-3F, 電話: 099-224-6639〕

<http://sunplaza-tenmonkan.com/>

温泉ホテル中原別荘(宿泊, 受賞講演, 総会)

〔鹿児島市照国町15-19, 電話: 099-225-2800〕

<http://nakahara-bessou.co.jp/>

**内容** 分析化学に関する若手研究者間の勉強会・講演会(詳細はウェブサイト <http://www.cb.kagoshima-u.ac.jp/lab/tome/wakate42/index.html> をご覧ください)

招待講演1: 「生体内の化学物質や微生物を検出する手法」

開発邦宏(株ビズジーン)

招待講演2: 「ナノ粒子分散一両性分子を用いた丈夫な電気二重層の提案」

佐々木隆浩(北海道医療大学)

九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表

一般ポスター発表: (優秀ポスター発表者には九州分析化学若手賞が授与されます)

総会

情報・意見交換会

**参加費** (宿泊費が別途必要となります)

一般: 5,000円, 日本分析化学会学生会員: 無料, 学生非会員: 3,000円

**参加及び発表申込締切** 2024年6月28日(金) 定員130名になり次第締め切ります.

**要旨原稿送信締切** 2024年7月12日(金)

詳細は夏季セミナーのウェブサイト

<http://www.cb.kagoshima-u.ac.jp/lab/tome/wakate42/index.html> をご確認ください.

**問合先** 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35 鹿児島大学大学院理工学研究科化学プログラム 児玉谷仁 [電話: 099-285-8108, E-mail: kodama@sci.kagoshima-u.ac.jp]

## 2024年度LC/MS分析士五段認証試験 実施のお知らせ

下記要領で実施する予定ですので, お知らせいたします.

**日時** 2024年7月29日(月) 14時~15時30分

**会場** 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2五反田サンハイツ303号室〕

**五段資格のイメージ** 「分析士を育成・指導できるレベル(師範). 論文の査読・指導, 学位論文の審査, 国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる.」

**分析士五段認証試験** 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出), 筆記試験(記述式)および面接試験を総合して合否を決定します. 書類選考用資料(体裁は自由)には, ①氏名, ②生年月日, ③現職, ④学歴, ⑤職歴, ⑥LC/MSに関する研究・業務経験, ⑦論文発表(適当数), ⑧学位の有無, ⑨講習会・講演会における講師等の実績, ⑩論文査読の経験, ⑪学位論文審査の経験, ⑫組織委員・実行委員等の実績, ⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績, ⑭LC/MS分析士四段の登録番号, ⑮その他, 特記事項, をこの順

で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください（お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません）。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、が出題され45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

**受験料** 9,900円（合格者は登録料6,600円を別途申し受けます）

**受験資格** 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士四段試験に合格、登録された方に限ります。

**申込方法** ①受験料を銀行振込後、②専用ホームページ（<https://forms.gle/661xjSRZjd3bkgXbA>）にアクセスして必要事項を入力し、③資料送付先に書類選考用資料をメールに添付して提出ください。

**申込締切** 7月19日（金）

**振込銀行口座** りそな銀行五反田支店 普通預金0802349、名義：（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

**資料送付先・問合せ先** （公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

## 2024年度LC/MS分析士四段認証試験 実施のお知らせ

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

**日時** 2024年7月31日（水）14時～15時30分

**会場** 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2五反田サンハイツ303号室〕

**四段資格のイメージ** 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

**分析士四段認証試験** 分析士四段試験では書類選考試験（事前提出）と筆記試験（記述式）とを総合して合否を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LC/MSに関する研究・業務経験、⑦論文発表（適当数）、⑧口頭発表（適当数）、⑨学位の有無、⑩LC/MS分析士三段の登録番号、その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください（お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません）。筆記試験には、1) 英文和訳問題、2) 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

**受験料** 8,800円（合格者は登録料5,500円を別途申し受けます）

**受験資格** 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

**申込方法** ①受験料を銀行振込後、②専用ホームページ（<https://forms.gle/gm4C5eLBV4woj43N7>）にアクセスして必要事項を入力し、③資料送付先に書類選考用資料をメールに添付して提出ください。

**申込締切** 7月19日（金）

**振込銀行口座** りそな銀行五反田支店 普通預金0802349、名義：（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

**資料送付先・問合せ先** （公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

## 2024年度LC/MS分析士三段認証試験 実施のお知らせ

標記につき、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

**日時** 2024年8月22日（木）14時～16時

**会場** ①東京会場：五反田文化会館〔東京都品川区西五反田1-32-2、交通：JR・都営地下鉄「五反田」駅より徒歩3分〕

②京都会場：(株)島津製作所本社研修センター〔京都府京都市中京区西ノ京桑原町1、交通：（地下鉄）京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乗り、「烏丸御池」駅にて下車し、京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え、「西大路御池」駅下車、4番出口より南へ徒歩3分。（市バス）京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205系統：西ノ京町町・金閣寺道ゆき」または「26系統：宇多野・山越ゆき」に乗り、「西大路三条」で下車後、三条通りを西へ徒歩3分（北側）京都駅からの所要時間約35分〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

**三段資格のイメージ** 各種分析士に共通するものとして、「新しい分析法を開発し、その妥当性確認（Method validation）を計画し、実施できるレベル。当該分析・測定技術に関連する学術的知識に詳しく、経験が深い。」と規程されます。LC/MS分析士においては「LC/MSを用いた試験に関連する前処理に関する知識が十分である。与えられた公定法や論文を正確に読みこなし、自らその試験を行うかSOPを作成することができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学並びに分析化学一般に関する知識を問う内容が約30%含まれます。

**受験料** 7,700円（合格者は登録料4,400円を別途申し受けます）。入金確認後、受験番号をお知らせします。

**受験資格** 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士二段試験に合格し、登録された方に限ります。

**申込方法** 受験料の銀行振込後、専用ホームページ（<https://forms.gle/3Xh4amWke4wv5jtS8>）にアクセスして必要事項を入力してください。

**申込締切** 8月13日（火）

**振込銀行口座** りそな銀行五反田支店普通預金0802349、口座名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会〔シヤ）ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー〕。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

**問合せ先** （公社）日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

## 2024年度イオンクロマトグラフィー分析士 四段認証試験

標記につきまして、下記の要領で実施いたします。

**日時** 2024年8月26日（月）14時～15時30分

**会場** 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2五反田サンハイツ303号室〕

**四段資格のイメージ** 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」イオンクロマトグラフィー（IC）分析士四段試験では書類選考試験（事前提出）と筆記試験（記述式）を総合して合否を決定します。

**申込方法** イオンクロマトグラフィー研究懇談会のホームペー



ジ (<https://ionchromatography.studio.site/>) にアクセスしていただき、トップページの「IC 分析士受験申込フォーム 四段試験 2024 年 8 月 26 日 (月) 実施分」をクリックしてください。必要事項をご記入のうえ、送信いただきますと申込みが完了します。受験料の支払方法は申込みのフォームに記載されておりますので、ご確認ください。

**受験料** 13,530 円 (受験料, 登録料並びに登録カードの発行料を含みます。) なお, 受験料を複数名ご一括でお振込みの場合でもお申込みフォームは個別にご入力・送信いただきますよう, お願い申し上げます。

**書類選考用資料** 申込が完了しましたら, イオンクロマトグラフィー研究懇談会事務局から, 書類選考用資料がメールで送付されます。書類選考用資料には, ①氏名, ②生年月日, ③現職, ④学歴, ⑤職歴, ⑥ IC に関する研究・業務経験, ⑦論文発表 (適當数), ⑧口頭発表 (適當数), ⑨学位の有無, ⑩その他, 特記事項, を記載いただき, 指定された締切日までにイオンクロマトグラフィー研究懇談会事務局にお送りください (お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。

**筆記試験** 試験当日の筆記試験では, 1) 英文和訳問題 (1 題), 2) 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題 (2 題) が出題され, 90 分以内に解答していただきます。筆記用具をご持参いただきますようお願いいたします。

**申込締切** 2024 年 7 月 26 日 (金)

**資料送付先・問合せ先** イオンクロマトグラフィー研究懇談会事務局 〒780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1 高知大学理工学部 森 勝伸・森みかる  
〔電話: 088-844-8306, E-mail: ic@jsac.jp〕

## 第 41 回分析化学中部夏期セミナー

主催 日本分析化学会中部支部

**期日** 2024 年 8 月 29 日 (木)・30 日 (金)

**会場** ゆーとりあ越中 [富山県富山市春日 96-1, 電話: 076-467-5000, <https://www.yu-toriaettyu.co.jp/>, 交通: (車でお越しの場合) 上記 URL の地図を参考に直接会場へお越しください (富山 IC より車で約 20 分), (バスでお越しの場合) 電鉄富山駅 富山地鉄バス (5 番のりば)「笹津春日温泉行」のバスに乗車後, 「笹津春日温泉」下車 (時刻表: <https://www.navitime.co.jp/diagram/bus/00025673/00047002/1/>)]

**目的** 分析化学および関連分野に携わる産官学の研究者の交流と親睦を図るとともに, 若手研究者の育成と研究発展の一助とする。

**プログラム**

第 1 日目 (8 月 29 日 (木)) (13.00~17.30 頃)

招待講演 (富山大学学術研究部工学系・會澤宣一先生, 金沢大学環日本海域環境研究センター・長尾誠也先生), ポスドク・ブレドク講演, ポスターショートプレゼンテーション

第 2 日目 (8 月 30 日 (金)) (9.00~12.00 頃)

ポスター発表, 企業新製品紹介講演 (日本分光株, ㈱島津製作所, ㈱共立理化学研究所)

**定員** 80 名 (定員超過の場合は先着順)

**申込先** 日本分析化学会中部支部ホームページ (<http://www.jsac.or.jp/~chubu/>) から申込専用フォームにてお申し込みください (専用フォームは近日中に掲載予定)。

**ポスター発表募集締切・参加申込締切** 7 月 8 日 (月)

**講演要旨集原稿締切** 7 月 29 日 (月)

**参加費払込締切** 7 月 29 日 (月)

**参加費** 一般 12,000 円, 学生 9,000 円

**送金先** 三井住友銀行名古屋支店 (店番 481) 普通 8110057,

(口座名義) 公益社団法人日本分析化学会中部支部

なお, 2 人以上の参加費を一括送金される場合は, 内訳を下記申込先までお知らせください。

**問合せ先** 〒930-8555 富山県富山市五福 3190 富山大学 環境化学計測 1 研究室 佐澤和人 [電話: 076-445-6670, E-mail: sazawa@sci.u-toyama.ac.jp]

## 2024 年度 LC/MS 分析士二段認証試験 実施のお知らせ

標記につき, 下記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。

**日時** 2024 年 9 月 18 日 (水) 14 時~16 時

**会場**

①東京会場: ㈱島津製作所東京支社イベントホール [東京都千代田区神田錦町 1-3, 交通: (地下鉄) 都営新宿線「小川町」駅, 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅, 東京メトロ丸の内線「淡路町」駅の B7 出口より徒歩 6 分, 東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩 10 分, (JR)「神田」駅西口より徒歩 10 分]

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

②京都会場: ㈱島津製作所本社研修センター [京都府京都市中京区西ノ京桑原町 1, 交通: (地下鉄) 京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乘車, 「烏丸御池」駅にて下車し, 京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え, 「西大路御池」駅下車, 4 番出口より南へ徒歩 3 分. (市バス) 京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205 系統: 西ノ京町町・金閣寺道ゆき」または「26 系統: 宇多野・山越ゆき」に乗車, 「西大路三条」で下車後, 三条通りを西へ徒歩 3 分 (北側) 京都駅からの所要時間約 35 分]

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

**二段資格のイメージ** 各種分析士に共通するものとして, 「手順書, 作業マニュアル, 規格を見れば, 自分で計画して業務を遂行できるレベル. 当該分析・測定技術に関連する物理, 化学, 生物, 電気, 機械等の基礎知識を有し, 装置等の日常点検, 保守等も行える。」と規定されます。LC/MS 分析士においては「LC/MS 装置とそれぞれのパーツの内容や原理の理解が十分にある。LC/MS を用いた試験について, 正確な操作を行うことができる。簡単な部品の交換が自分でできる。」ことが求められます。なお, 試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約 40%含まれます。

**受験料** 6,600 円 (合格者は登録料 3,300 円を別途申し受けます)。先着 65 名。請求書と領収書の発行はいたしません。

**受験資格** 受験できる方はこれまでに行われた LC/MS 分析士初段試験に合格し, 登録された方に限ります。

**申込方法** 受験料の銀行振込後, 専用ホームページ (<https://forms.gle/KGvpDM2cdKjxWG6y9>) にアクセスして必要事項を入力してください。

**申込締切** 9 月 6 日 (金) 15 時。会場に定員制限がありますので, 入金順に受験番号を発行します。

**振込銀行口座** りそな銀行五反田支店普通預金 0802349, 口座名義: 公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 [シヤ) ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー]。なお, 一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一, コロナ禍等で試験が中止された場合には, 次回受験料を免除します。

**問合せ先** (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会・分析士認証専門部会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]



## 2024年度LC/MS分析士初段認証試験 実施のお知らせ

標記につき、記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。

日時 2024年10月21日(月)14時~16時

会場

①東京会場：(株)島津製作所東京支社イベントホール〔東京都千代田区神田錦町1-3、交通：(地下鉄)都営新宿線「小川町」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅のB7出口より徒歩6分、東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩10分。(JR)「神田」駅西口より徒歩10分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

②京都会場：(株)島津製作所本社研修センター〔京都府京都市中京区西ノ京桑原町1、交通：(地下鉄)京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乘車、「烏丸御池」駅にて下車し、京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え、「西大路御池」駅下車、4番出口より南へ徒歩3分。(市バス)京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205系統：西ノ京円町・金閣寺道ゆき」または「26系統：宇多野・山越ゆき」に乘車。「西大路三条」で下車後、三条通りを西へ徒歩3分(北側)京都駅からの所要時間約35分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

**初段資格のイメージ** 各種分析士に共通するものとして、「指示をすれば一人で分析できるレベル。当該分析・測定技術に関する基礎的知識および関連する法令に関する知識を有する。」と規定されます。LC/MS分析士においては「クロマトグラフィーやLC/MSに関する基礎的知識と原理に対する理解が十分にある」ことが求められます。なお、試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約50%含まれます。

**受験料** 5,500円(合格者は登録料2,200円を別途申し受けます)。先着65名。請求書と領収書の発行はいたしません。

**申込方法** 受験料の銀行振込後、専用ホームページ(<https://forms.gle/8pFbX8kNLoUrKai39>)にアクセスして必要事項を入力してください。

**申込締切** 10月11日(金)。会場に定員制限がありますので、入金順に受験番号を発行します。なお、中止した2021年度のLC/MS分析士初段試験に受験料を納入された方の受験料は不要ですが、連絡事項に当時通知された受験番号を明記してください。

**振込銀行口座** りそな銀行五反田支店普通預金0802349、口座名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会〔シヤ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー〕。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次の受験料を免除します。

**問合せ先** (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会〔E-mail:nakamura@jsac.or.jp〕

## —以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

### 日本金属学会オンライン教育講座 「電子顕微鏡と格子欠陥の基礎」

主催 (公社)日本金属学会

期日 2024年6月19日(水)・20日(木)

会場 オンライン(Zoom)による講義

ホームページ <https://www.jim.or.jp/seminarsymposium/>

連絡先 〒980-8544 宮城県仙台市青葉区一番町1-14-32  
(公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム参加係  
〔電話：022-223-3685, E-mail:meeting@jim.jp〕

### 電気化学セミナー A

初心者のための電気化学測定法-基礎編

主催 (公社)電気化学会

期日 2024年6月21日(金)~7月4日(木)

会場 オンデマンド配信(Vimeo)による動画セミナー

ホームページ <https://www.electrochem.jp/seminar/>

連絡先 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6

日本弘道会ビル7階 (公社)電気化学会事務局

〔電話：03-3234-4213, E-mail:seminar@electrochem.jp〕

### プラズマ分光分析研究会 2024 筑波セミナー —プラズマ分光分析法の基礎を確認しよう—

主催 プラズマ分光分析研究会

期日 2024年7月4日(木)・5日(金)

会場 つくば国際会議場中会議室202およびオンライン

ホームページ <http://plasma-dg.jp/>

連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 梅村知也

〔電話：042-816-3001, E-mail:office@plasma-dg.jp〕

### 第42回高分子表面研究会基礎講座

主催 高分子学会 高分子表面研究会

期日 2024年7月5日(金)

会場 東京理科大学森戸記念館第1フォーラム(現地およびZoomによるハイブリッド開催)予定

ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F (公社)高分子学会 第42回高分子表面研究会基礎講座係  
〔電話：03-5540-3770, E-mail:jigyospsj.or.jp〕

### 第36回イオン交換セミナー 「挑戦するイオン交換VIII」

主催 日本イオン交換学会

期日 2024年7月19日(金)

会場 上智大学四ツ谷キャンパス  
ホームページ <http://www.jaie.gr.jp/>  
連絡先 長岡技術科学大学量子原子力系 鈴木達也  
〔電話：0258-47-9692, E-mail：tasuzuki@vos.nagaokaut.ac.jp〕

## 第12回対称性・群論トレーニングコース (日本語講義・英語講義)

主催 日本結晶学会  
期日 (英語講義) 2024年7月22日(月)～26日(金)  
(日本語講義) 2023年7月29日(月)～8月2日(金)  
会場 高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス  
ホームページ <http://pfwww.kek.jp/trainingcourse/>  
連絡先 対称性・群論トレーニングコース事務局 高橋良美  
〔E-mail：tyoshimi@post.kek.jp〕

## 第21回次世代を担う若手のための フィジカル・ファーマフォーラム (PPF2024)

主催 日本薬学会 物理系薬学部会  
期日 2024年8月22日(木)・23日(金)  
会場 レクトーレ葉山 湘南国際村  
ホームページ  
<https://sites.google.com/view/ppf2024hayama/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=1>  
連絡先 〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 (公社)  
日本薬学会 物理系薬学部会 東海林敦 (東京薬科大学)  
〔E-mail：ashoji@toyaku.ac.jp〕

## 第13回環境放射能除染研究発表会

主催 (一社)環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会  
期日 2024年9月4日(水)・5日(木)  
会場 いわき市立中央公民館 (いわき市文化センター)  
ホームページ <https://khjosensmoosy.atlas.jp/ja/kenkyu13>  
連絡先 〒305-0061 茨城県つくば市稲荷前24-10 A-102号室  
(一社)環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会事務局 丸山能生  
〔電話：029-886-9227, E-mail：maruyama@khjosens.org〕

## 第73回ネットワークポリマー講演討論会

主催 合成樹脂工業協会  
期日 2024年10月23日(水)～25日(金)  
会場 近畿大学東大阪キャンパス  
ホームページ <https://www.jtpia.jp/>  
連絡先 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-10-4  
丸石ビルディング6F 合成樹脂工業協会 ネットワークポリマー講演討論会事務局  
〔電話：03-5298-8003, E-mail：atsushi.otaki@jtpia.jp〕

## 第45回超音波エレクトロニクスの 基礎と応用に関するシンポジウム 45th Symposium on UltraSonic Electronics

主催 超音波エレクトロニクス協会 USE シンポジウム運営委員会  
期日 2024年11月25日(月)～27日(水)  
会場 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン  
ホームページ <https://use-jp.org/>  
連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3 日本大学理工学部タワースコラ16階1614室 日本大学理工学部電気工学科 大隅 歩  
〔電話：03-3259-0766, E-mail：use-sponsor-app@iuse.or.jp〕

## 「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号として、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載しております。第84回分析化学討論会では、「文化財をはかる、なおす、まもる分析化学」、「環境調和・資源循環型社会の創生と分析化学」、「ものづくりを支える分析化学」、「宇宙と分析化学」、「生命の活動を知る分析化学」の5テーマを討論主題として取り上げました。

2024年度の分析化学討論会特集号では、生成AIと一緒に考え、5つの討論主題を「フロンティアとしての分析化学：文化財から宇宙まで」としてテーマにしました。本テーマにおいて、第84回分析化学討論会で設けた5つの討論主題に関する論文を広く募集します。多数のご投稿をお待ちしております。詳細は「分析化学」73巻4・5号及びホームページをご覧ください。

特集論文の申込締切：2024年7月12日(金)  
特集論文の原稿締切：2024年8月9日(金)

## 「分析化学」年間特集「環」論文募集

「分析化学」編集委員会

2025年は「環」をテーマとすることと致しました。分析化学において「環」は、様々なスケールでの意味を持ちます。たとえば「環境」や「循環」のような大きなスケール、あるいは、多環芳香族炭化水素(PAHs)などの「環状化合物」という小さなスケールです。いずれにおいても、分析化学は重要な役割を果たしています。

本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集にかかわる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第74巻(2025年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切：2024年7月21日(金) (第1期)  
特集論文原稿締切：2024年8月18日(金) (第1期)